

「発達が気になる子の子育て講座」ご報告

9月6日(金)、かでの2・7にて、『発達が気になる子の子育て講座』を行いました。この講座は昨年度に引き続き企画したもので、今年度は『生活クラブ福祉基金』の助成をいただいて開催しております。

今回は講座の情報を北海道新聞に載せていただいたため、とても多くのお問い合わせをいただき、45名(内会員4名)の参加がありました。



当日の会場は、ポプラ会役員や他団体の代表様も合わせ満員状態。スマホなども普及しますますデジタルな世の中になってきたとはいえ、やはりまだまだ新聞の力は凄いな〜、そして、このような講座を必要としている方はたくさんいらっしゃるのだと改めて感じました。

【はじまりは理解から〜気になる子どもの育ち】と題した講話では、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる所長 加藤潔氏から、そもそも自閉症スペクトラムや発達障がいって何?というところから、具体的なエピソードを例にした関わり方、保護者の休息のしかたまで、短い時間のなかでたくさんの大事なことをわかりやすくお話していただきました。

参加者の皆さんにご協力いただいたアンケートには「元気になれた」「勉強になった」「前向きに考えていけそう」「希望がもてた」といった大変嬉しい感想がたくさんありました。

そして、講話後は「JDD 北海道」「いーよ」「クローバー」「ドンマイの会」「札幌ポプラ会」それぞれの代表から、会の沿革と具体的な活動を御紹介いただきました。

終了後にはそれぞれ気になる団体のところへ行ってご相談されていらっしゃる方の姿も。その後、入会に繋がった方もいらっしゃるようです。参加して下さった皆さんがご自身やお子さんの悩みを相談できる会に繋がると良いですね。

その流れのまま、午後はそれぞれの会のコーナーに分かれて茶話会となりました。こちらの様子は「おしゃべりルーム」報告でいたします。

来年2月15日(土)には同じ内容の講座が行われます。今回の講座では開催する側としてもいろいろ課題が見つかりました。アンケートも参考に、よりよい講座になるよう準備していきたいと思っております。まだ参加したことがないという会員のかたもぜひ一度ご参加ください。(下田)